
アルシカ

不透明

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
アルシカ

【Nコード】
N5260N

【作者名】
不透明

【あらすじ】
一つ目の場所、地元のこと

誰が初めだったか知らないか

町のあちこちで

人の口から溢れ出て

噂はあつというまに広まった

深海の生き物が

月夜にいつせいに

産卵するようだった

ヒステリックなざわめきが彼らを包んでいた

その日を知らないか

騒がしさが

小さな町の最果てに

ついに到達したとき

当の彼は

清いうなじを真っ直ぐにして

層をなす白雲を見上げていた

預言者が駆り出されたのは
それから間もなくのこと

神託こそなかったが
噂がこの上ない神託だった

だから預言者はきっぱりと言った
人指し指を立てた

「彼の頭蓋に、宇宙が棲んでいる。」

この預言の全文を知らないか

わたしはあまりきちんと
聞いていなかった

それからの顛末を知っているか

誰もが彼の首を欲しがった

「戦争になるだろう」と
まくしたてる者がいた

誰もが「そうだ」と口を揃えた

それでけっきょく戦争にはならずすんだ

彼らは感動したいただけだったのだ

火蓋は切って落とされなかったが、しかし

問題の首は、まあ、
跳んだ

跳んだところを見たか
わたしは、見た

樹氷に似た見事な角は
空中では両翼を広げた
大きな鳥のようだった

そして墜落をもって
成長をやめた

大きな瞳が、
見開かれたまま
頭は転がって静止した

宇宙がその内に湛えられた

その首の在りかを知っているか

今では駅の壁に飾られている
ひなびた駅の壁だ

観光客だけが
電車を待つあいまに
彼を見ていく

彼の首は
黄色いポスターの横で
もう視線は雲を射ぬかない

美しいうなじも
切断され加工が施され
永遠に失われた

そこにあるのは
誰の目にも
「或る鹿の首」

そこに一つの宇宙があったことを
もう誰も知らないが

それがまさしく唯一の
宇宙であったなら
これはやはり意味のあることなのだろう

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5260n/>

アルシカ

2010年10月9日07時11分発行